

記者発表資料

平成28年1月14日(木)

総務部危機管理課(防災情報係)

担当:高橋(内線 261)

鹿折地区津波避難計画の発行

— 震災の教訓を活かした地区津波避難計画を作成 —

■市では、平成26年3月、国、県の指針などを基本とし、本市における津波避難の課題を踏まえ、“市域全体の津波避難のあり方を示す”気仙沼市津波避難計画「全市版」を策定しています。さらに、全市版の計画に基づき、各地区の特性に応じた津波避難計画を市内14地区で作成することとしており、この度、鹿折地区の住民や団体などの方々とワークショップを開催し、「地区津波避難計画」を作成しました。

■地区津波避難計画では、防潮堤や避難道等のハード整備が完了するまでに時間を要することから、東北地方太平洋沖地震津波(東日本大震災)を浸水範囲とし、防潮堤などの海岸保全施設等がない現状で、各地区の指定避難場所及び地域緊急避難場所とその標高、避難経路、東日本大震災の避難の教訓と心得、津波の基礎知識等を記載しました。

■この計画は、家族はもちろん、自治会、学校、企業などの避難計画の検討に活用していただくとともに、市総合防災訓練等においても、地域全体で共有できるよう啓発に努めます。

【地区津波避難計画の概要】

1 発行部数 1,706部

2 発行日 平成28年1月15日(「広報けせんぬま」と併せ各世帯に配付)

3 ワークショップの実施状況

第1回 H27年8月27日、第2回 H27年10月2日、第3回 H27年10月28日

※平成27年11月9・13日に現地で避難経路等の再確認

4 今後の予定

・気仙沼西地区は第3回ワークショップを1月20日に予定しています

・全体14地区のうち、残り6地区(小原木、南気仙沼、松岩、大谷、津谷、小泉)についても、ワークショップを開催し、今後発行していく予定です。

※中井、内湾、面瀬、階上の4地区については、平成27年6月1日に、唐桑、大島の2地区については、平成27年11月1日に発行済みです。